

海上保安における

日本財団海上保安研究基金

令和6年度学術シンポジウム



競合と協力

— 今日の国際環境といかに向き合うか —



渡邊 保範
前海上保安庁海上保安監



坂元 茂樹
神戸大学名誉教授



兼原 敦子
キヤノングローバル戦略研究所研究主幹 /
公益財団法人笹川平和財団上席フェロー



飯田 将史
防衛研究所理論研究部長



西村 弓
東京大学大学院教授



野中 健一
海上保安大学校教授



岩谷 暢子
海上保安大学校
海上保安国際研究センター
主任研究員



山影 統
海上保安大学校
海上保安国際研究センター
主任研究員

2024 11 / 23 土・祝

13:00 > 17:00 一橋大学一橋講堂

オンライン同時配信

海上保安庁が向き合う海というフィールドは、島国である日本にとって生命線である。近年では、海底に眠る鉱物資源にも注目が集まるなど、海の重要性はますます高まっている。さらに、国際情勢や国家間のパワーバランスの変化により、海上保安行政を取り巻く国際環境は一層複雑化している。

こうした複雑な国際環境をどのように理解し、解決策を見出していくか。

このシンポジウムは、国際法と地域情勢の研究者による討論を通じてその知見を融合させる海上保安大学校初の試みである。この試みを通じて、日本が直面する海上保安の諸問題を適切に理解し、解決するための新たな視座を発見したい。

参加受付・
配信については
QRから



入場無料

問い合わせ: 海上保安国際研究センター東京 03-3471-9527

主催 海上保安大学校(海上保安国際研究センター)・公益財団法人海上保安協会

プログラム

主催者挨拶

筒井直樹 海上保安大学校長

趣旨説明

奥蘭淳二 海上保安大学校海上保安国際研究センター/教授

現状報告

渡邊保範 前海上保安庁海上保安監

講演

- i) 坂元茂樹 神戸大学名誉教授
- ii) 西村弓 東京大学大学院教授
- iii) 野中健一 海上保安大学校教授
- iv) 岩谷暢子 海上保安大学校海上保安国際研究センター主任研究員
- v) 山影統 海上保安大学校海上保安国際研究センター主任研究員

パネルディスカッション1

討論者 兼原敦子 キヤノングローバル戦略研究所研究主幹 /
公益財団法人笹川平和財団上席フェロー

パネルディスカッション2

討論者 飯田将史 防衛研究所理論研究部長

主催者挨拶

奥島高弘 公益財団法人海上保安協会理事長